

【大学間協定留学】留学報告書

記入日	2023年2月12日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2023年1月25日
明治大学卒業予定年月	2024年3月
留学先大学について	
留学先国	デンマーク
留学先大学	コペンハーゲン大学(日本語名) University of Copenhagen(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2022年8月～2023年1月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): 人文学部 (現地言語での名称): Faculty of Humanities <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例: 1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期: 9月上旬～1月上旬 2学期: 2月上旬～6月上旬 3学期: 4学期:
学生数	約 37,000 人
創立年	1479 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (DKK)	日本円	備考
授業料	0	0 円	協定留学のため留学先での授業料は免除。
宿舍費	62,775	1,182,285 円	デポジット8000DKK + 家賃 7,825DKK/月 × 7 か月
食費	10,000	188,416 円	1,000DKK/月 × 5 か月
図書費	0	0 円	図書館を利用しました。
学用品費	0	0 円	筆記用具等全て日本から持参しました。
携帯・インターネット費	295	5,558 円	59DKK/月 × 5 か月 (30GB + 30 時間通話)
現地交通費	895	16,863 円	レンタル自転車 179DKK/月 × 5 か月 (☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	21,229	400,000 円	旅費(チェコ、ハンガリー、ドイツ、オーストリア、 北欧 3 か国、イギリス、フランス)
被服費	250	4,710 円	衣類はおおよそ持参しましたが、アウターを一 着程購入しました。
医療費	0	0 円	
保険費		63,510 円	形態: 明治大学指定の海外旅行保険
渡航旅費		154,540 円	渡航関連欄参照。
ビザ申請費	2,000	37,683 円	別途、送料(5000 円)がかかります。
雑費	1,000	18,841 円	日用品の購入など。
その他		円	
その他		円	
合計	98,444	2,073,316 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地: 成田空港 目的地: コペンハーゲン空港 経由地: ドーハ空港	
復路 出発地: コペンハーゲン空港 目的地: 成田空港 経由地: ドーハ空港	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: カタール航空 料金: 154,540 円	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴ 合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: カタール航空) <input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: Engvej Studio)	<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室	<input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3)共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
コペンハーゲン大学への留学申請の際に、Housing の項目で Yes を選択すると、大学指定の Housing Foundation が紹介されます。その誘導に沿って、20 種類ほどの寮から希望の寮を契約する形になります。寮の申請に関しては指定の日時に世界中の留学生が一斉にアクセスし、先着順で予約されていくため注意が必要です。	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
完全なプライベート空間を確保したい方、一人暮らしがしたい方におすすめの寮です。新築に近い状態で非常にきれい、かつ海にも近く、都市へのアクセスを保ちつつのんびりとした時間が過ごせます。また空港までおよそ 10 分と非常にアクセスよく、帰国や旅行の際は非常に助かりました。実際に 5 か月間滞在した感想としては「快適」の一言に尽きます。家賃は非常に高いですが、新築であること、一人部屋であることを含めて考えると、光熱費込みでこの値段は、コペンハーゲンにしては安い方だと感じました。ただ、私自身この寮は希望して選択したのではなく、先着順で決まる寮の争奪戦に敗北した結果としての入寮です。希望の寮を契約するためには、万全の状態指定の日時ぴったりにサイトにアクセスすることを強くお勧めします。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
渡航前に外務省の海外安全ホームページから情報を仕入れていました。現地では失くしたら困るもの、主に財布と鍵に Airtag をつけておき、手元から離れたらすわかるようにはしていました。実際に危険な思いをしたことはありません。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
寮には WIFI がついていて快適なインターネット環境でした。学校の WIFI 接続もよく不便ないです。携帯電話に関しては Lycamobile という会社と契約し主に LTE 回線を使用していました。こちらも接続よく、EU 圏内でのローミングサービスもついて月々1200 円ほどと安くお勧めです。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
日本の口座と紐づいているクレジットカードを主に使用していました。途中で資金が足りない場面があったので、その際は親に日本の口座に振り込みをお願いしました。口座開設は CPR ナンバーとは別に NemiD が必要になります。NemiD 発効後は、Lunar というオンラインバンクで簡単に口座開設ができました。	
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。	
日本の調味料(醤油、味噌、めんつゆ)、袋麺、カイロ 日用品は何でも現地で手に入りますが、物価が高いので持っていきけるだけ持っていくことをお勧めします。	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
DCC Course in Danish Culture	デンマーク文化講座
科目設置学部・研究科	Humanities
履修期間	2022 年秋学期
単位数	7.5ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 100 分が 1 回
担当教授	Peter Edelberg
授業内容	デンマーク文化講座は、毎学期開講されている留学生向けの英語による授業です。この授業では、文学、神話、歴史、絵画、音楽、建築、映画、福祉、国民性など、デンマーク文化の様々な側面を扱います。時間割に組まれている講義に加え、世界で最も有名な現代美術館の一つであるルイジアナ近代美術館や、北欧で最も壮麗な城と言われるフレデリクスボー城への遠足も含まれています。
試験・課題など	授業への出席。毎回、事前リーディング課題が出されます。
感想を自由記入	留学生向けの講座ということで留学生がほとんどでした。デンマーク文化について、広く浅く学ぶという印象で、毎回異なるゲスト講師が動画なども交えながら、歴史等、様々な側面からデンマークという国の文化的特徴について学ぶことができます。とてもフランクな雰囲気での授業でテスト等も行われないので、毎授業楽しみながら受講できました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
DCC Danish Architecture and Urban Design	デンマーク建築と都市デザイン
科目設置学部・研究科	Humanities
履修期間	2022 年秋学期
単位数	15ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 100 分が 1 回
担当教授	Lars Gemzøe
授業内容	デンマーク建築と都市デザインは留学生向けの英語による授業です。デンマークでは、建築は単に建物を造る技術だけでなく、より幅広い実践的な活動として捉えられています。この授業では、過去 100 年にわたるデンマークの建築と都市デザインについて、環境に配慮した設計や北欧的アプローチの見られる建築物を例に学びます。授業外では、代表的な建築や都市デザインの例としてスウェーデンのマルメという都市を含んだ 3 回の遠足が行われました。
試験・課題など	毎回、事前リーディング課題が出されます。 試験は学期末に 11-15 ページのレポートを提出します。最終提出の 2 か月前頃に synopsis (レポートの大筋を示すもの)を提出します。
感想を自由記入	毎週ではないですが、頻繁にゲスト講師の方がお越し下さり、建築や街づくりに関して実際に従事する方だからこその貴重なお話が聞けます。デンマークの建築や都市デザインについて知識を得た上でコペンハーゲンの街並みを経験してみると、その美しさに改めて気づくことができ印象的でした。毎授業の課題はリーディングのみですが、期末のレポート課題が重めなので、早い段階からテーマを定めて研究し始めることをお勧めします。講義形式の授業ではありましたが、所々で小さなディスカッションをする機会もありました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	11月: 大学間留学し願書の作成、提出。 12月: 面接試験。
留学開始年	1月～3月	1月: 大学間留学合格者オリエンテーション バイトたくさんして貯金
	4月～7月	4月: コペンハーゲン大学への留学申請手続き 6月: ビザ申請、留学願等明治大学における留学手続き、コペンハーゲン大学の履修登録、寮の申請、航空券購入 7月: 渡航前オリエンテーション
	8月～9月	8月: 渡航 9月: 留学生向けオリエンテーション、CPR ナンバー申請、ボランティア団体 (Studenterhuset) に加入
	10月～12月	10月: synopsis 提出、Japanese Café 参加、ヨーロッパ旅行 11月: 母が遊びに来る。 12月: 試験期間、北欧旅行
留学/帰国年	1月～3月	1月: ヨーロッパ旅行、寮の清掃、PCR 検査、帰国。
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

私がコペンハーゲン大学への留学を志望した理由は、北欧社会の仕組みや文化について、実際に現地で生活することを通じて学びを深めたかったからです。また、これまで海外経験がなく、学生のうちに国外に出て全く新しい価値観や文化に触れてみたいという思いもありました。そんな期待と不安を胸に抱えてスタートした半年間のコペンハーゲンライフでしたが、期待を上回るたくさんの経験をする事ができたと感じています。学業面では、本当に学びのツールが豊富だという印象で、図書館の本がほとんどオンライン上で閲覧できたり、キャンパスのいたるところにオープンな自習スペースが設置されていたり、学業に前向きな姿勢になれる環境が整っています。英語でレポート課題をこなすことが私にとっては非常に大変でしたが、北欧デザインの現代風で綺麗なキャンパスはとても集中しやすく作業がはかどりました。授業では遠足も数回行われ、デンマークに興味があって集まった様々な国の留学生とフィールドワークに出る経験は純粋に楽しかったです。また生活面では、想像していたより自由に使える時間が多かったという印象です。空いた時間でボランティア活動をしたり、寮から近い海に接している公園へ出かけたり、コペンハーゲンをサイクリングしたり、デンマークらしいスローライフの満喫も、学業と両立する事ができました。

今帰国してみて、デンマークで過ごした半年間は本当にあっという間だったと感じています。ただ、一つ一つの思い出を振り返るとそれぞれが濃く印象的で、長くいたような気持ちにもなります。留学前は、日本で大学やバイト、遊びに何かとせわしなく過ごす時間が多かったですが、デンマークでの生活経験を通じて、自分と向き合う時間を大切に過ごすことの有意義さに気づかされました。日本とは大きく異なる国民性の人々、環境に囲まれて暮らす経験は、人によって受け取り方は様々ですが、必ず新しい価値と出会う大きなきっかけになると思います。学生という、最も自由の利く期間をフル活用して、自分の興味、関心に正直に、たくさん挑戦していただけたらと思います。